

タイトル

深江中学校で認知症サポーター養成講座

深江中学校の生徒を対象に、認知症に対する理解を深め、徘徊（はいかい）等で困っている高齢者等を発見した場合の的確な対応を学ぶ「認知症サポーター養成講座」を実施します。

記

■日 時 11月8日（金）13:55～15:45

■場 所 南島原市立深江中学校


■受講者 南島原市立深江中学校3年生（70名）

南島原市では約4割の方が65歳以上という状況です。

生産年齢層の都市部流出や核家族化が進行し、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加していることに加え、昔ながらの近隣同士の支え合いの機能が希薄化し、高齢者の孤立や、認知症による徘徊などが目立つようになっていきます。

本市において、介護認定者のうち、在宅で生活している7%の方が「徘徊あり」、このうち38.7%の方が「一人で出たがる」という状況にあります。

市では、「高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会」を実現するため、平成31年3月から「認知症高齢者等見守り事業」を実施しており、自宅や帰り道がわからなくなって困っている高齢者など、異変に気付いた発見者が、衣類などに貼られた「見守りシール」を携帯電話で読み取るだけで、瞬時に家族へメールが配信され、その後、インターネット上の専用掲示板の中で、発見者と家族が、LINEのグループチャットの感覚で文字会話をを行いながら、家族のお迎えが完了するまでをサポートしています（ICTを活用）。

担当部署	福祉保健部 福祉課	担当者	笹田 真二
直 通	0957-73-6651	E mail	soumukourei@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは 		検索ワード	
担当者 連絡先			